

月額10万円を給付する「ふるさとぬまた未来創造奨学金」を創設へ 卒業後沼田市に定住か就労を条件に

沼田市では、2021年度の入学者から卒業後、沼田市に定住、就労を条件に月額10万円を給付する「ふるさとぬまた未来創造奨学金」を創設することになりました。

給付対象となるのは、大学、短期大学、専修学校または高等専門学校（4・5年次に限る）で、給付する期間は、進学する大学等の正規の修学年限で、上限は4年です。

給付人数は若干名で、書類選考（作文等）・面接（プレゼンテーションを含む）で選考する予定です。



議会報告会、意見交換会の実施にむけ議会改革特別委員会で検討へ

議員定数や議会報告会、意見交換会の実施について、一般質問の発言制限などについて検討、協議をすすめている市議会議会改革特別委員会は、市民への議会報告会、市民との意見交換会を実施することで合意し今後、実施方法などについて協議をすすめることになりました。

所属する常任委員会の所管事項について一般質問ができないという制限について、撤廃することで合意し、委員長と副委員長で市の執行部に申し入れることになりました。



利南運動公園の工事の状況を市議会が視察

3月末に完成が予定されている利南運動公園の工事の進捗状況を9日、市議会で視察しました。

利南運動公園は、センター122畝、レフト・ライト100畝、外野が天然芝の野球場とテニスコート8面（夜間照明12基）、駐車場は大型バス5台、中型車321台が整備されます。

1周約1,000畝のジョギング・ウォーキングコースと多目的緑地広場も整備されます。



続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その五十一

しゃくなげの湯

利根町日影南郷にある「南郷温泉しゃくなげの湯」は、工事費8億6,764万円、平成13年度（2001年度）に完成しました。



しゃくなげの湯は敷地内に温泉が湧出し、湯量が豊富で、循環、加温などしていない源泉かけ流しの湯として、市外の人たちにも人気があります。

しゃくなげの湯がある場所には、南郷中学校（昭和22年（1947）開校）があり、多い時は在校生が100人を超えていましたが、生徒数が減少し平成9年（1997）3月に閉校し、東中学校（現利根中学校）と合併しました。

開校した年の9月にはカスリン台風によって、南郷小学校が流失したことから、南郷中学校で授業がおこなわれ、家屋を流出した住民の避難場所としても使われました。

輪組の武尊神社

輪組にある武尊神社は、昭和25年（1950）に焼失し、昭和28年（1953）に再建されました。



明治時代には、栃又の大山祇社を合併し、武尊社、諏訪社、大山祇社などが祀られています。

社殿の後方には、樹齢500年と推定された樺がありました。

2020年2月23日

NO. 641

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 TEL23-1519 部内資料